

統合実習 母性看護学 思春期健康教育コース

実習報告書

防衛医科大学校 医学教育部看護学科 第4学年9名

指導教官：西岡笑子・坂本めぐみ・渡邊美奈子

平成29年11月17日（金）

統合実習 母性看護学 実習報告書

1. 実習テーマ

健康教育～異性の気持ちを知る・自分の気持ちを伝える～

2. 動機

自分自身が中学生の時に教えてもらいたかったことや、看護を学んでいく上で、中学生に伝えた方が良く感じたことについて、正しい知識を中学生に伝えたいと感じたため。また、授業で習ったこと、卒業研究で研究していることを活かした実習を行いたいと感じたため。

3. 背景

先日鶴ヶ島南中学校を訪問した際に戴いた資料の中で、今回授業をする新中学 2 年生の生徒を対象に昨年度行った「性の学習アンケート」結果から、生徒が性のことについて知りたい項目として『生命の誕生』『異性の気持ち』が男女共に高い数値として見られた。このアンケート実施後に「赤ちゃんふれあい体験」を実施していることから、最も多くの生徒が知りたいと思っていた『生命の誕生』については学習し、理解出来ていると考える。よって今回は『異性の気持ち』に焦点を当て、講義したいと考えた。

また、中学 2 年生という年齢からみる発達段階を考慮すると、自己の性に対する認識を深めること、また男女の人間関係において適切な判断や意思決定が出来ることが挙げられている。そのため、性行為そのものに焦点をあてその危険性や中学生のそれに対する賛否を問うよりも、その前段階として、男女の性意識や気持ちの違いに注目し、それが今後どのような行動に繋がるかという面からアプローチすべきではないかと考え、このテーマを取り上げた。

4. 目的

- ・性教育に対して否定的になることなく、主体的に正しい知識を身につけようとする姿勢を持つことができる。
- ・健康教育を通して、中学生が異性の気持ちや自分自身の気持ちについて向き合い、考えることができる。
- ・今回の健康教育を、中学生が今後、男女の性について前向きに考えていくきっかけとすることができる。

5. 実習内容

実習期間：10/31（月）1000～ 中学校リハーサル
11/15（水）0930～ 健康教育実施
11/17（金）1000～ 中学校反省会

対象者：鶴ヶ島市立南中学校第二学年

実習場所：鶴ヶ島市立南中学校

方法：クラスごとに健康教育を実施する。

6. 指導案：別紙参照

7. 参考文献

- ・安酸史子編『ナースィング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論』第2版、メディカ出版、2014年
- ・中野綾美編『ナースィング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護』第5版、メディカ出版、2015年
- ・財団法人 日本性教育協会編『すぐに授業に使える性教育実践資料集 中学校版』小学館、2007年
- ・山本直英、高柳美知子、村瀬幸浩編著『ヒューマンセクソロジー』最新版第6刷、一橋出版、2008年
- ・財団法人 日本性教育協会編『若年の性 白書』第7回、小学館、2013年
- ・鶴ヶ島南中学校“性の学習アンケート”平成28年度実施版
- ・上田基監修、アップルドア編『性教育のQ&A』初版第1刷、ミネルヴァ書房、1993年
- ・上田基編著『命のたいせつさを学ぶ性教育』初版第1刷、ミネルヴァ書房、2008年
- ・社団法人 日本家族計画協会 指導者用教材 小学生向け、中学生向け、高校生向け 生きるための心の教育（性教育）～いのち・こころ・性の教育～（PPT）

8. 資料：防衛医大紹介用 PPT、模造紙、授業アンケート

9. 結果

授業終了後、中学生の授業に対する理解度や意識の変化について、アンケートを実施した。生徒は2クラス合わせて63人で、回収率は100%であった。以下集計した結果である。また、①～⑦は択一式、⑧～⑩は自由記載である。

① 「中学生の心とからだ」について理解できましたか

よく理解できた	48人 (76.2%)
どちらかという理解できた	11人 (17.5%)
あまり理解できなかった	4人 (6.3%)
理解できなかった	0人 (0%)

② 異性に対する気持ちの男女の違いや個人差について理解できましたか

よく理解できた	50人 (79.4%)
どちらかという理解できた	11人 (17.5%)
あまり理解できなかった	2人 (3.2%)
理解できなかった	0人 (0%)

③ 異性との関わり方について考えることができましたか

よく考えることができた	35人 (55.6%)
どちらかという考えることができた	25人 (39.7%)
あまり考えられなかった	3人 (4.8%)
考えることができなかった	0人 (0%)

④ 授業の内容は分かりやすかったですか

とてもわかりやすかった	57人 (90.5%)
どちらかというわかりやすかった	5人 (7.9%)
どちらかというわかりにくかった	1人 (1.6%)
わかりにくかった	0人 (0%)

⑤ グループでの話し合いに参加できましたか

たくさん参加できた	23人 (36.5%)
どちらかというに参加できた	28人 (44.4%)
あまり参加できなかった	11人 (17.5%)
参加できなかった	1人 (1.6%)

⑥ この授業は中学2年生の今の時期に必要なだと思いますか

とても必要だと思う	13人 (20.6%)
どちらかという必要だと思う	42人 (66.6%)
あまり必要だと思わない	7人 (11.1%)
必要だと思わない	1人 (1.6%)

⑦ 授業の長さについて

長かった	4人 (6.3%)
ちょうどいい	57人 (90.4%)
短かった	2人 (3.2%)

⑧ これまで、自分が好きな人にされて嬉しかったことや嫌だったことがあれば教えてください。

- ・話しているときによく笑ってくれた。
- ・辛いときになぐさめてくれた。
- ・やさしくされること。
- ・会話ができたこと。
- ・手紙を交換した。
- ・でかけた。
- ・LINE がしつこかった。
- ・あった気がするが忘れてしまった。
- ・個人の返信は来ないけれど、別のアプリで使用のあとがあつて、返信を遅らせられているのがわかって嫌だった。

⑨ 今日の授業を受けて、もっと知りたかったことがあれば教えてください。

- ・アニメのキャラを好きになるのも異性を好き？
- ・赤ちゃんの3階脳のレベル
- ・なぜ男性はコントロールできないのか
- ・男性と女性の接し方をもう少し教えてほしい。
- ・男女の思いの違い
- ・なぜ性的興奮で考え方が変わるのか。

⑩ 今日の感想

授業の感想について、自由記載欄を設け書いてもらい、その内容を、実習目標に沿って「自己理解・自己受容について」、「異性への関心の個人差、男女差の理解について」、「相手の性の尊重・望ましい異性観への気づきについて」、「相手の気持ちを考えることの大切さについて」、「今後生かしたいこと」、「授業方法について」、「授業内容について（知識・理解）」の7つの項目に分類した。

分類	記載例
自己理解・自己受容について	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の行動や性格などがよく考えられた。(女) ・自分の、みんなへの接し方が男女のどちらに近いか、考えることができた。(女) ・自分は芸能人を好きになったことはあるけれど、それ以外の恋愛について知れてよかった (女) <p>◎中学生の心と体の変化がわからなかった。(男)</p>
異性への関心の個人差、男女差の理解について	<ul style="list-style-type: none"> ・男子と女子でここまで違いがあるなんて、ビックリした。(男) ・人と人との考え方は、ひとりひとり違うと、改めて分かった。(男) ・異性とは、自らの考えとは異なる考えが多く、それは、同性でも同じということがわかった。(男) ・ときには、すれ違いも起きるということが学べた。(男) ・男子と女子がそれぞれ考えていることが違うということを知れてよかった。(女) ・人によって考えている事も違うし、男女によって好きという気持ちも変わってくるとわかった。(女) ・男女の考え方の違いは、自分で思っているよりも複雑だと思った。(女) <p>◎個人差があるということをもっと強調するべきだと思った。</p>
相手の性の尊重・望ましい異性観への気づきについて	<ul style="list-style-type: none"> ・男性がしたいことがあっても、女性が嫌な気持ちになっていることがあるかもしれないので、今後、そういった気づきがいればよかった。(男) ・女性の気持ちを知ったうえで、話し合ったり、行動したりしていきたい。(男) ・異性に対して考えたことがなかったので、ちょっと難しかった。でも、話を聴いているうちに、ちょっとずつわかってきた。(男) ・自分が考えていることと、異性が考えている事が、全然違っても、相手のことを理解しておけば、すれ違いもなくなるとわかった。(男) ・心では傷ついているとわかった。(女) ・異性の関わり方がとてもよくわかった。(女)

<p>相手の気持ちを考えることの大切さについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を相手に伝え、相手の意見をしっかりと理解することが大切であるとわかった。(男) ・他の人が考えている事を知らないときは、話すのがいいことだと思った。(男) ・改めて人のことを考えることができるようになった。異性にも同性にも優しくしていきたい。(男) ・相手の気持ちを理解するには、会話が一番適していると思った。(女) ・好きな人のことについてたくさん会話して知っていくことが大切。(女) ・相手を傷つけないように自分の気持ちを伝えることが大切だと思った。(女)
<p>今後生かしたいこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出たときや好きな人ができたときに、生かせればいいと思った。(男) ・今日学んだことを踏まえて、異性と接するようにしたい。(男) ・感情をコントロールしたい。(男) ・自分の意思がコントロールできなくなってしまうようにはなりたくない。(男) ・男女の考え方や、「行動をする前に考えること」、「やさしさを持つこと」、「人をいたわること」をしっかりと覚えておきたい。(男) ・相手の気持ちを考えないで行動することがあるので、もっと相手の気持ちを考えて行動できるようにしたい。(女) ・しっかり自分の意見をいうことが大切だと思った。(女) ・よく考えて行動していきたい。(女)
<p>授業方法について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つが素晴らしく、見てわかりやすい。(男) ・グループでの話し合いがあったので、意見が言い合えたりしてよかった。(男) ・とてもわかりやすかった。(女) ・説明がわかりやすく、掲示物もとてもキレイで見やすかった。劇では、ひとつひとつのリアクションがとても上手くてわかりやすかった。(女) ・男女で話し合えたのでよかった。(女) <p>◎話し合いにはあまり参加できなかったけど、いろいろなことについて知れたので良かった (男)</p>

授業内容について (知識・理解)	<ul style="list-style-type: none"> ・人がすごい脳を持っているとわかった。(男) ・3階をしっかりと使わないといけないと感じた。(男) ・他の動物にはない脳を人間だけが持っていることに感動した。(男)
---------------------	--

10. 考察

(1) 授業後アンケートの結果から得られた生徒の理解度と意識の変化について

アンケート結果より、7割以上の生徒が『中学生の心とからだ』についての理解ができており、「今までの自分の行動や性格などをよく考えられた」「自分の皆への接し方が男女のどちらに近いかを考えることができた」などから、多くの生徒が今までの行動を振り返り、自分の心やからだ、行動についての理解を深め、受容する気持ちを養うことができたと考えられる。しかし、「中学生の心とからだの変化がわからなかった」とする男子生徒が「今の時期にあまり必要ではない」と答えており、その生徒の発達段階としては授業内容が少し早かったと考えられる。そのため授業内容が自分自身のこととして捉えることができなかつたと推測される。

また、異性に対する気持ちの男女差や個人差については9割以上の生徒が理解できており、「男子と女子との違いにびっくりした」「興奮の伝わり方について女子は1通りしかないけれど、男子は2通りあり驚いた」など、男女差について初めて知ったという意見が複数見受けられたことから、男女差について関心を持つことができたと考えられ、異性との関わり方に変化がみられることが期待されるのではないかと考えられる。さらに、男女の違いだけでなく、「同性でも考え方が違うこと」や「1人ひとりの考え方が違うこと」を学んだとする生徒もおり、個人差があることへの理解を深めることができたのではないかと考える。一方で、ある生徒からは「個人差であることをもっと強調するべきだと思った」という意見があったことから、個人差があることに対する説明が不十分であったことや男女差を強調していたため個人差もあることへの理解までに及ばなかつた生徒がいる可能性があることが考えられる。

異性との関わり方については9割以上の生徒が考えることができたと回答し、相手の性の尊重や望ましい異性観への気づきについて多くの学びを得ることができていた。中でも、「相手の気持ちを知ったうえで、話し合ったり行動したりしていきたい」「相手のことを理解しておけばすれ違いもなくなるとわかった」など、まずは相手を理解することから始め、そのうえでどのような行動をとるべきか、どのように行動していきたいかを考えることができていると考える。

相手の気持ちを考えることの大切さについては「自分の意見を相手に伝え、相手の意見をしっかりと理解することが大切であると分かった」「改めて人のことを考えることができるようになった」「異性にも同性にも優しくしていきたい」「相手を傷つけないように自分の気持ちを伝えることが大切だと思った」などの記載から、自分の考えや意思を押し付けるのではなく、思いやりを持って伝え合い、互いに向上していくことが大切であると学ぶことがで

きたと考えられる。

授業内容についての知識理解に関しては、「人がすごい脳を持っていると分かった」「3階をしっかりと使わないといけないと感じた」「他の動物にはない脳を人間だけが持っていることに感動した」という記載から、正しい知識を身につけようとする姿勢をもち、また異性に対する気持ちの男女差や個人差について関心を持つことが出来ていたことも踏まえて、今後男女の性について前向きに考えていくきっかけとする機会を設けることができたと考えられる。

(2) 授業の良かった点・改善点と今後の課題

良かった点として、アンケート結果より、授業方法について、「グループでの話し合いがあったので、意見が言い合えてよかった。」「男女で話し合えたのでよかった。」という記載があった。自分の意見を伝えるだけでなく、異性や他者を理解する機会も設けることができたと考える。

また、「説明がわかりやすく、掲示物もとてもキレイで見やすかった。劇では、ひとつひとつのリアクションがとても上手くてわかりやすかった。」という記載があった。ビデオ撮影をしながら何度もリハーサルを行い、生徒目線での改善重ねることで伝え方を工夫することができたと考えられる。

改善点として、アンケート結果より、「個人差があるということを、もっと強調するべきだと思った。」という記載があり、今回は男女の脳の仕組みの違いから生まれる性差について、詳しく説明したが、発達段階により生まれる個人差や、ひとりひとりの感じ方、考え方の違いについての説明が不足していたと考えられる。感じ方に個人差があることについてを、口頭での説明だけでなく、視覚的に、訴える必要があると考える。

また、「なぜ男性はコントロールできないのか」という記載があり、男女の脳の違いについて、説明を行なったが、うまく伝わっていないと推測されるため、より具体的な説明をする必要があったと考えられる。

先述したように、授業内容に関して、「中学生の心とからだの変化がわからなかった」とする男子生徒が「今の時期にあまり必要ではない」と答えており、その生徒の発達段階と授業内容が一致しておらず、自分自身のこととして捉えることができなかつたと考えられる。このことから、そのような生徒がいることを把握した上で、今後必要になる知識であることを説明するべきであったと考える。

11. 学び

今まで行った健康教育の対象は、成人であったが、今回の健康教育の対象が中学生ということで、発達段階や理解度を考慮した授業内容を作成する必要があり、計画段階から修正を重ねた。授業後アンケートから、一部、十分な理解に及ばなかつた生徒もおり、私たちの考えが至らなかつた部分もあつたが、大半の生徒が授業内容を理解したとしており、対象に合わせた教育を行うことが大切だと学んだ。

また、同じ中学生であっても、クラスやグループで雰囲気が違い、個人差も大きく、集団に教育することの難しさを改めて感じた。

普段から、勝手に知っている仲である生徒のグループに、ピアエデュケーターとして入って話し合うにあたり、限られた時間の中で、グループ全員が話し合いに参加し、スムーズに進めるようにサポートしていくことの難しさを学んだ。

口頭での説明だけでなく、劇やポスターなどは印象に残りやすく、理解しやすいことがわかり、教育媒体として視覚的アプローチの大切さを学んだ。

12. 結論

今回、「性教育に対して否定的になることなく、主体的に正しい知識を身につけようとする姿勢を持つことができる」「健康教育を通して、中学生が異性の気持ちや自分自身の気持ちについて向き合い、考えることができる」「今回の健康教育を、中学生が今後、男女の性について前向きに考えていくきっかけとすることができる」の三点を目的とし、鶴ヶ島市立南中学校第2学年に対し、健康教育を行った。実施後、授業内容についてのアンケートを行い、理解状況についての調査を行った。結果、多くの生徒が十分に理解できたと述べていた。このことから、授業内容は適切であったと考えられるが、一部の生徒が十分な理解に至っていないと考えられた。授業後に内容を補足するなど、生徒が理解を深めることのできる機会を持つことができれば解決する問題であったが、継続して関わることのできない対象に対する健康教育の限界を感じた。

平成 29 年度鶴ヶ島南中学校 健康教育
学習指導案

日時：平成 29 年 11 月 15 日（水）3-4 限

対象：鶴ヶ島市立南中学校 2 学年

実習生：9 名（A～I）

指導教官：西岡・坂本・渡邊

会場：鶴ヶ島市立南中学校

1. 単元名（科目名、教科書、副教材等）：教育テーマ

異性の気持ちを知る。自分の気持ちを伝える。

2. 本時単元（健康教育）の目的

・性教育に対して否定的になることなく、主体的に正しい知識を身につけようとする姿勢を持つことができる。

・健康教育を通して、異性の気持ちや自分自身の気持ちについて向き合い、考えることができる。

・今回の健康教育を、今後、男女の性について前向きに考えていくきっかけとすることができる。

3. 本時単元の目標：テーマの目標

①自分の性について理解を深め、受容する気持ちを養うと共に、男女の性心理の違いを理解する。

②異性への関心は個人差・男女差があるということへの理解を深める。

③男女が互いに相手の性を尊重する態度を養い、人間関係を豊かにする。

④互いに理解を深め相互の特性を尊重することが、望ましい異性観につながることに気付く。

⑤相手の人格を認め、自分の考え方や意思を押し付けるのではなく、思いやりをもって伝え合い、互いに向上していこうとする心のあり方が大切であることを考えることが出来る。

⑥性教育に対して否定的になるのではなく、正しい知識を身につけようとする姿勢を持ち、自らの問題として考えることが出来る。

4. 生徒の実態

①発達段階

エリクソンの発達段階によると、中学 2 年生は第 V 段階の青年期にあたり、発達課題として「アイデンティティ(自我同一性)の確立」と「アイデンティティの拡散」をあ

げている。身体的成熟（第二性徴）があり、今まで信頼していた自分の身体に対する突然の動揺から自我機能のバランスが崩れる。そのため、もう一度社会の中での自分の位置づけを統合するために、集団への同一視や帰属意識の獲得から自己の確立を求めていく。仲間の存在を用いて役割実験（自分の将来のアイデンティティに対する多くの可能性を確かめるために、いろいろな社会的役割を将来的に試みることを）を行いながら、いろいろな顔をした自分を統合して「これが自分」というものを明確にしていく。更に性的・世代的・就職的アイデンティティの探求によって自我同一性を獲得する。すなわち、自分への問いかけ、再評価、役割実験後の達成によって一貫した自己を作り上げていく。

性教育の面で言えば、自己の性に対する認識を深めること、また男女の人間関係において適切な判断や意思決定が出来ること、そして家族や社会の一員として男女の生き方の多様性を理解し、自分自身の役割や自己の将来の生き方について考えることが挙げられる。現状として、男女間は比較的良好な交友関係を築けており、男女交際を行っている男女も少数ながらみられる。

②関連した学習の進度

昨年度9月に実施された「赤ちゃんふれあい体験」を通して、生命の誕生、妊娠経過及び命の大切さ、育児の大変さを学習している。

③理解度

赤ちゃんとのふれあいや妊娠体験を通じて、生命の誕生、妊娠経過及び命の大切さを理解出来ている。また妊婦の大変さや、いかに妊婦の苦勞をパートナーが緩和してあげるかという目線から男性の役割の重要性を理解することが出来ている。

5. 生徒が生活する地域の実態

鶴ヶ島市立南中学校は、鶴ヶ島駅からバスで10分程度の場所に位置しており、南小学校が隣接している。周辺には川鶴団地が存在し、治安もよく過ごしやすい環境である。南中学校の生徒のおよそ9割は南小学校から入学しており、残りは第二小学校から入学している。生徒は学校や地域の規則を遵守しており、学校や地域の風紀を乱さず、学校の教員や地域住民からの評価も高い。また地域との結びつきも強く、連携して様々な活動に従事している。

6. 教材観・教材の系統観（使いたい教材）

【持参するもの】

- ・パソコン（自己紹介で使用するPPT）
- ・資料：劇「E君とI」の台本（別紙2）、授業後アンケート（別紙3）、グループワークメモ（別紙4）、「中学生の心とからだ」に関する教材（模造紙）、

マグネット

・学生名札（画用紙：表に名前や出身等自己紹介を書く／裏に大きく劇中で使用する名前を書いて自己紹介後は名札として使用）

【中学校にお借りするもの】

- ・模造紙等を掲示する黒板
- ・プロジェクター、スクリーン
- ・机と椅子（飛翔ルームにある長机とパイプ椅子を使用）

7. 指導観

幼少期のころ異性に抱いていた感情と、中学生のいま異性に対して抱いている思いの違いに気づき、人を好きになることや付き合うということについて考える機会を与える。また異性に対して感じる思いや愛情表現には個人差があることを理解し、2 人の間で異なってしまう場合に、時としてそれが関係を壊してしまうことに繋がるということをそれぞれが認識する必要がある。異性への関心は個人差・男女差があるということへの理解を深め、互いに相手の性を尊重する態度を養うことが望ましい人間関係や異性観につながることに気付くよう導く。

8. 単元の指導

①教材（指導者用・生徒用）

②会場の準備（配置、生徒の並ばせ方を含む）

- ・準備の段階で机を以下のグループ（向かい合う形）に配置しておく。
- ・生活班（男女混合 5～7 名）、リーダーあり。
- ・各 G にファシリテーターの学生を 1 名、全体のファシリテーターの学生を 1 名配置する。
- ・場所は教室よりもやや広い場所である飛翔ルームを想定。
(→劇の実施に際してのスペースの確保や話し合いの際のグループ同士の距離を考慮)
- ・お互いに意見が言いやすいようグループごとに向かい合う形で机と椅子を配置する。

9. 本時の展開（案）（タイムスケジュール：別紙 1 参照）

<導入>

① 自己紹介

PPT を用いて、各人の自己紹介及び大学での学生生活をスライドショーにして見せる。

② 授業の趣旨の説明（オリエンテーション）

恋愛・性について考える時間であること、またグループごとに話し合い、発表をしてもらう場面があることを説明する。

③ 「人を好きになるってなんだろう？」

これまで様々な人や物に対して感じてきた「好き」と、中学生になったみんなが今抱いている、異性に対する「恋愛感情としての好き」との感情の違いやその変化について提示し、展開に繋げる。

<展開>

④ 劇「E君とI」（台本：別紙2参照）

⑤ グループごとに話し合い

劇を見て自分自身が感じたこと、主人公2人の気持ち、最後にどうして美紀はあのような行動をとったのか、自分が主人公だったらこのあとどうしたいと思うかを話し合ってもらおう。

各グループのファシリテーターの学生は出た意見を用紙（別紙4）に書き留めていく。上記4項目について話し合い、全てに対して意見が出るよう促す。

⑥ 発表

話し合ってもらった内容をグループごとに発表してもらおう。出てきた意見は模造紙に書いて掲示していく。男女の意見の差や共通点に注目する。

⑦ 中学生の心とからだ

好きな気持ちを感じたときの男女の行動のとり方や感じ方の違い、またその違いが出現する理由について、脳の働きや発達、二次性徴、性的刺激の伝達システムを基に模造紙を用いてわかりやすく説明する。

<まとめ>

⑧ まとめ（解説）

個人や男女間で差が出ることはおかしいことではなく、当たり前であることを説明。その上で理解しようと思って欲しいことを伝える。

幼少期のころ異性に抱いていた感情と、中学生のいま異性に対して抱いている思いの違いに気づき、恋愛感情として人を好きになることについて考え、自分の気持ちの変化を受容する。その上で、異性に対して感じている思いや愛情表現は個人差があり、2人の間で異なってしまう場合もある。それを理解できなかつたり、相手の気持ちを考えられなかつたりすると、それは時として2人の関係を壊してしまうことに繋がることがあるということを認識する。異性への関心は個人差・男女差があるということへの理解を深め、互いに相手の性を尊重する態度を養うことが望ましい人間関係や異性観につながることに気付くよう導く。

性の多様性について触れ、必ずしも男子、女子の二択ではないことを伝える。また、その内容については今後の学校での性教育の中で学ぶことを伝える。

⑨ アンケート記入

授業終了前に8分程度、授業後アンケートを記入する時間を設ける。本時の関心や意欲、理解度の評価に加えて、もっと知りたかったことや授業の感想等も記入していただき授業実施後のフィードバックに役立てる。

10. 本時の評価

評価基準

- ・関心、意欲、態度・・・学習内容に興味を持ち、グループの話し合いに取り組む。
 - ・思考、判断、表現・・・異性との関わり方について考えることができる。
 - ・知識、理解・・・異性への関心に関する個人差、男女差が理解できる。
- 授業終了時アンケートを実施し、評価する。(別紙3参照)

11. 授業を行なう上での留意点

- ・性に関する話題に対して抵抗がある生徒にも、自分自身に関係のある問題であることを自覚し、主体的に授業に参加できるような雰囲気作りを心掛ける。
- ・性の多様性も意識し、必ずしも男子、女子の二択ではないことにも考慮して授業を行う。また、様々な家庭の事情も考慮し、言葉遣いや言い回し等には十分留意する。その他教育者として相応しくない言葉の使用を控える。(NGワードを決め、その言葉は使わない)。

<NGワード>

- ・親や兄弟との関わりについては中学生からの意見を求めない。
- ・性の多様性を考慮して「好きな男の子/女の子、異性」→「好きな人」という表現にする。
- ・「性交(セックス)」「勃起」については教科書の表現に合わせ、使用しない。
- ・「～すべきである」など強制するイメージのある表現は用いない。
- ・話し合いの中で中学生から“AV”や“アダルトサイト”などの表現が出た場合には、受容しつつ、こちらからの発言では“性的な刺激のある映像やインターネットサイト”等の表現に言い換える。

<このテーマを取り上げた理由>

先日鶴ヶ島南中学校を訪問した際に戴いた資料の中で、今回授業をする新中学2年生の生徒を対象に昨年度行った「性の学習アンケート」結果から、生徒が性のことについて知りたい項目として『生命の誕生』『異性の気持ち』が男女共に高い数値として見られた。このアンケート実施後に「赤ちゃんふれあい体験」を実施していることから、最も多くの生徒が知りたいと思っていた『生命の誕生』については学習し、理解出来ていると考える。よって今回は『異性の気持ち』に焦点を当て、講義したいと考えた。また、中学2年生という年齢からみる発達段階を考慮すると、自己の性に対する認識を深めること、また男女の人間関係において適切な判断や意思決定が出来ることが挙げられている。そのため、性行為そのもの

に焦点をあてその危険性や中学生のそれに対する賛否を問うよりも、その前段階として、男女の性意識や気持ちの違いに注目し、それが今後どのような行動に繋がるかという面からアプローチすべきではないかと考え、このテーマを取り上げた。

性教育に対して否定的になることなく、人を好きになったり、恋をしたりすることを当たり前のこととして受け入れ、主体的に正しい知識を身につけようとする姿勢を持つと共に、今後の人生を楽しむための足掛かりとなるような授業を目指したい。

【参考文献】

- ・安酸史子編『ナースング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論』第2版、メディカ出版、2014年
- ・中野綾美編『ナースング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護』第5版、メディカ出版、2015年
- ・財団法人 日本性教育協会編『すぐに授業に使える性教育実践資料集 中学校版』小学館、2007年
- ・山本直英、高柳美知子、村瀬幸浩編著『ヒューマンセクソロジー』最新版第6刷、一橋出版、2008年
- ・財団法人 日本性教育協会編『若年の性 白書』第7回、小学館、2013年
- ・鶴ヶ島南中学校“性の学習アンケート”平成28年度実施版
- ・上田基監修、アップルドア編『性教育のQ&A』初版第1刷、ミネルヴァ書房、1993年
- ・上田基編著『命のたいせつさを学ぶ性教育』初版第1刷、ミネルヴァ書房、2008年
- ・社団法人 日本家族計画協会 指導者用教材 小学生向け、中学生向け、高校生向け
生きるための心の教育（性教育）～いのち・こころ・性の教育～（PPT）

	学習内容・活動	健康教育（口述する）の内容	教師（防衛医大学生）の働きかけ	資料・物品 評価の視点	留意点
導入 (7分) ① 10:40~10:47 ② 11:35~11:42	1. 学校紹介 (2分) 自己紹介 (2分) 2.授業の主旨 説明 (1分)	<p>「みなさん、こんにちは。私達は防衛医科大学校、という学校から来た学生です。将来は看護師、保健師になるために勉学に励んでいます。</p> <p>まず簡単に学校の紹介をします。看護学科にはコースが 2 つあり、私たち 4 人が自衛官コースで、将来は全国で自衛官の看護師として働きます。5 人が技官コースで、将来は防衛医科大学校病院で働きます。授業や演習、実習などは合同で行なっています。自衛官コースは、それに加え、全寮制で、射撃やスキー、水泳や筋トレ、硫黄島や富士山での訓練もあります。部活は自衛官コース、技官コースに加えて、医学科学生も合同で行なっています。文化祭や体育祭もあり、充実した学生生活を送っています。(スライドを見せながら説明、その後自己紹介を行う。)</p> <p>「今日は、『異性の気持ちを知る、自分の気持ちを伝える』ということで、【恋愛】や【性】についてみんなで考えていきたいと思います。グループで話し合ったり、発表してもらったりするので、仲良く協力してやっ</p>	1.【学生A】防衛医大・防衛医大学生について紹介する。 【学生B】PPT 操作 自己紹介は、ひとりずつ画用紙を作成し、手に持って話す。 画用紙の裏に劇中で呼ばれる名前を記載しておく。(自己紹介後それを表にして首から掛ける) 2.【学生A】恋愛・性について考える時間であること、またグループごとに話し合い、発表をしてもらうことを説明。	1.PPT を用いて、防衛医大の学生の普段の様子を見てもらう。画用紙を用いて自己紹介を行う。	1.学生の姿が全体から見えるように ・親しみやすい印象を持たれるように、元気よく。 ・服装は劇中の役柄を考慮して、男子役は髪を束ねてパンツスタイル (パンツスール等)、女子役はスカートスタイルで髪を下ろすか二つ結び等を考えている。

	<p>3.『人を好きになるって何だろう?』 (2分)</p>	<p>きましょう! 「よろしくお祈いします!」</p> <p>「みんな、誰か、何かを好きだなあ、って思ったことがきつとあったと思います。家族や友達、飼っているペット。大事にしているぬいぐるみやおもちゃ。テレビで見る芸能人。きつと色々あると思います。」</p> <p>「でも、そういった【好き】とは違う異性に対する【恋愛感情としての好き】を体験したことのある人もいます。」</p> <p>「小学校に通っていた時はみんなどうでしたか?○○ちゃん可愛いな、△△君かっこいいな、好きだな、って思ったとき、みんなはどうしたい、って思いましたか?手を繋ぎたい、一緒に遊びたい、お話したい、そう思っていたのかな。」</p> <p>「では、今は好きだなあ、って思った相手とどうしたいって思っているかな?小学生の頃と比べてどう変わったのかな」</p> <p>「したいこと、知りたいこと、きつと増えているのではないかな、と思います。恥ずかしいな、って思っている子もいるかもしれないけど、恥ずかしいことでもおかしいことでもありません。」</p> <p>「みんなが成長して大人に一步近づいているということです」</p> <p>「【恋愛感情としての好き】がど</p>	<p>【全員】挨拶する</p> <p>3.【学生C】全体に向けて、「好き」の違い、感情の変化について講義</p>	<p>3.中学生にわかりやすい表現を用いて話す。</p>
--	------------------------------------	--	--	------------------------------

		ういうものなのか、改めて一緒に考えてみましょう。」			
展開 (28分) ① 10:47~11:15 ② 11:42~12:10	4.劇(4分) ① 10:47~10:51 ② 11:42~11:46	「では、早速ですが今から劇を行います。主人公はみんなと同じ中学2年生のE君とIちゃんです。2人は1ヶ月前から付き合っているようですよ。ふたりの行動についてどう思うか、ふたりの気持ちはどうなのか、自分だったらどう思うか、想像して見てください。また主人公2人の心の声を、学生A・Dの2人が行います。それでは女優の皆さん、よろしくお願ひします。」 劇を行う(別紙2)	4.【学生C】舞台横で話す。【学生D・A】舞台横。【学生E～I】舞台袖で用意。名前を書いた画用紙を首からかける。	4.名前を書いた画用紙を首からかける。	
	5.グループごとに話し合い(7分) ① 10:51~10:58 ② 11:46~11:53	「E君とIちゃんはどうでしたか?では今からグループで、先ほどの劇を見て、最後の場面でのIちゃんとEくんの気持ち、そしてEさんとIちゃんが今後とも良い関係であるためにどうしたらよいと思うか、話し合ってみてください。時間は7分です。わたしたちもグループに入って一緒に話し合うので、仲間に入れてください。話し合いの後は発表を行うので、指名されたら班長さんお願いします。それでは始めてください。」	5.【学生D】話す。 【学生A・E～H】グループに混ざり、話し合いの内容を別紙4に書き留める。意見がいえるように促す。意見が出ていない項目があれば、意見を出すよう促す。 【学生B・C・D・I】全体の様子を見ながら、質問等があれば答えていく。	5.別紙4、5	5.グループ内で話し合いに参加できていない生徒が出ないように気を付ける。性に関する話題に抵抗がある中学生には無理に意見を求めず、見守る。 ※回答例は別紙5参照
	6.発表(10分) ① 10:58~11:08	「時間です。それでは、発表に移ります」 「最後の場面でのIちゃんの気	6.【学生D】司会 各質問2グループずつ当てる。最後の質	6.【学生I】模造紙に発表された内容を	6.発表する生徒以外は発表を聞

	<p>② 11:53~12:03</p>	<p>持ちについて発表してくれるグループはありますか？」</p> <p>「では、【〇〇】グループ、お願いします。」</p> <p>「ほかに違った意見があったグループはありますか？」</p> <p>「では次に、突き飛ばされてしまったEくんの気持ちについて発表してくれるグループはありますか？」</p> <p>「みなさんありがとうございます。みんなそれぞれ思ったことは違うと思います。自分以外の誰かは、自分が考えていなかったようなことを考えていたと思います。男の子は女の子の気持ち、女の子は男の子の気持ちを、今はじめて、知ることができたかもしれません。では、このような個人差や男女差は、どうして生まれるのでしょうか。今から説明します。」</p>	<p>問は時間を見ながら適宜当てるグループ数を調整する。</p> <p>【学生I】書記</p> <p>【グループに入っていた学生】</p> <p>そのままグループ内にとどまり、発表がスムーズに進むように支援。他に違った意見があれば発表するよう促す。</p>	<p>書き留めていく。</p>	<p>く姿勢を取るよ うに促す。</p>
	<p>7.中学生のこ ころとからだ (7分)</p> <p>① 11:08~11:15</p> <p>② 12:03~12:10</p>	<p>『俺のこと好きなら何でもできるだろ』『男の子って何考えているのか分からない』これは、思春期に限らず大人になっても続く永遠の課題かもしれません。では、好きな気持ちが高まったときの男女の行動のとり方や感じ方の違いを考えてみましょう」</p>	<p>7.【学生E】話す。</p> <p>【学生F~H】は学生Eの横、【学生A・B・D】は舞台袖で待機。</p>		<p>7.ハキハキゆっ くりと。強弱を つける。 生徒の反応を伺 いながら話す。</p>

		<p>「性的刺激に対して、女性は心理的情緒的に興奮し、近づきたいといった接近欲、触りたいといった接触欲、というように段階的に進み、その時点その時点で満足感、幸福感を体験することができます。それに対して男性は、性的欲求が直線的、積極的に進み、衝動的な行動が出やすくなります。」</p> <p>「女性では『好きな人の横にいるだけで安らぐ』のに対して、男性は気持ちだけでは満足できずに『相手に触りたい、キスしたい』と気持ちがわき上がることが多くなります。性に対する感じ方の男女差はこの刺激に対する興奮の伝わり方の違いからくるものです」</p> <p>「どうしてこのような差が出るのでしょうか？ それには脳の働きが関係しています。まず男女の違いの前に、脳の進化のお話をします。 動物の進化は、脳の進化により可能となった、といわれています。 人の脳は三階建てになっており、1階、2階、3階と新しく発達した脳細胞を上積み上げて、高いレベルの動物になっていきました。1階は食べたい、寝たいなど生きるための本能を操る部分でカエルレベルの脳、</p>	<p>【学生H】話す。 【学生E】指示棒にて模造紙を示す。</p> <p>【学生F】話す。</p> <p>【学生E】指示棒にて模造紙を示す。</p>	<p>模造紙①「男女の性に対する感じ方の違い」提示。 指示棒</p> <p>模造紙②「脳レベル」提示。 指示棒</p>	<p>1階、カエルの脳、2階は猫の脳、3階は人間脳の図表を示し、わかりやすく説明する。</p>
--	--	--	--	---	---

		<p>2階は好き嫌いを感じる部分で猫レベルの脳、3階は考えたり判断したりする部分で、この3階まで持っているのは人間だけなので、人間レベルの脳といえます。</p> <p>そして、この3階部分には行動する前に考える、という『人だけがもっている最高の機能』が備わっているので、意識してこれを活用すれば、1階の本能を操るカエルレベルの脳や、2階の好き嫌いを感じる猫レベルの脳の暴走を抑えて、その時々に応じた人間として相応しい行動をすることができるのです。」</p> <p>「次に身体の仕組みから男女の違いについて考えてみましょう。</p> <p>まずは女性の場合です。女性の性反応のルートは3階から伝わるルート、自分の意志でコントロールできるルートしかありません。」</p> <p>「一方で男性の場合です。男性の性反応のルートは二つあります。一つは3階を経由するため自分の意志でコントロールできるもの、もう一つは3階を経由しないため自分の意志でコントロールができないものです。</p> <p>では、一つ目の自分の意志でコントロールができるものにつ</p>	<p>【学生I】話す。</p> <p>【学生E】指示棒にて模造紙を示す。</p> <p>【学生G】話す。</p> <p>【学生E】指示棒にて模造紙を示す。</p>	<p>模造紙③「大脳反射系のシステム（女性）」提示。 指示棒</p> <p>模造紙③「大脳反射系のシステム（男性）」提示。 指示棒</p>	<p>※1階：脳幹、 2階：大脳辺縁系、3階：大脳新皮質という言葉は使用しない。</p> <p>女性の性反応のルートは1つしかない①理性でコントロールできるもののみ。</p> <p>男性の性反応は①理性でコントロールできるものと②理性でコントロールできないものの2ルートある。</p>
--	--	---	---	---	--

		<p>いて説明します。3階に刺激が加わるとその刺激が2階、1階へと伝わり、射精されます。</p> <p>この場合は自分の意志でコントロールすることができます。男性は写真やビデオといった直接視覚に入ってくる刺激で興奮しやすいようです。</p> <p>二つ目は自分の意志でコントロールができないものについて説明します。直接からだに刺激が加わったり、精子がたくさん溜まった時に、その刺激が反応する神経に伝わり射精されます。この場合は3階を経由しないで起こるものなので自分の意志ではコントロールすることができません。」</p> <p>「こうした男女の性反応の違いを正しく理解しておかないと、思わぬ結果を招くことがあります。</p> <p>よく女性は性的接触にいたった理由として“愛しているから”“断ると嫌われるから”などといます。女性にしてみれば愛している証の性的接触が、男性からみれば性欲の解消だったなどといったすれ違いを避けるためにも、お互いが相手の心や身体を正しく理解できるとよいと思います」</p> <p>「性欲や異性に対して興味・関心が出てくるのも、人として脳</p>	<p>【学生H】話す。</p>		
--	--	---	-----------------	--	--

		<p>が発達してきた証拠といえます。脳の働きは、二次性徴の身体の変化だけでなく、感情や理性的な考えも性行動もコントロールすることができます。</p> <p>3階脳を使うか、使わないかはみんな次第です。行動する前によく考えること、やさしさを持つこと、人をいたわること、これらは人間にしか出来ないことなのです。</p> <p>思春期は、心と体が発達します。人間らしく生きていくために、脳を3階まで十分に使えるように出来るといいですね。」</p>			
<p>まとめ (10分)</p> <p>① 11:15~11:25</p> <p>② 12:10~12:20</p>	<p>8.まとめの 解説 (2分)</p> <p>① 11:15~11:17</p> <p>② 12:10~12:12</p>	<p>「みんなには色々と話し合ってもらったけれど、男子と女子とで思っていることが違うことに気付いたと思います。男の子が好きな女の子としたいことと、女の子が好きな男の子としたいことは違います。もちろん、同じ男子同士、女子同士でも違います」</p> <p>「昔思っていた【好き】という気持ちと今思っている【好き】という気持ちも違うと思います。これは、おかしいことでも間違っていることでもありません。」</p> <p>「でも、相手の気持ちを理解したり、考えたりしないで行動すると、相手を傷つけたりします。男の子と女の子の間でも考え方や思っていることは変わり</p>	<p>8.【学生E】話す。 【学生A・G・I以外】舞台袖待機</p> <p>【学生A】話す。</p>		<p>8.中学生にわかりやすい表現を用いて話す。 今回の授業のまとめを講義形式で行う。</p>

		<p>ます。また、一人ひとりが思っていることはもちろん全く違います。」</p> <p>「今日は異性を好きになるということについてお話ししましたが、異性ではなく同性を好きになるという方もいます。また、見た目と心が違うこともあります。身体が男性、脳が女性。反対に、身体が女性、脳が男性。という方もいます。もしかしたら、皆さんの身近にいるかもしれません。自分と違うから、みんなと違うから悪いというわけではありません。からかわれて、身近に傷ついている人がそばにいるかもしれないということを考えてほしいです。性についての様々な考え方について、今後の学校での性教育など様々な場面で学ぶ機会があるので、その時に詳しく学んでください。お互いの気持ちを考えることが大切だということを覚えておいてほしいと思います。」</p>			
9.アンケート 記入 (8分) ① 11:17~11:25 ② 12:12~ 12:20	<p>「これで、防衛医大生の授業を終わります。最後に、アンケートを記入していただきたいです。さっきグループについてくれたメンバーが行くので、質問があったら言ってください。</p> <p>[①11時23分/②12時18分] くらいまでに書いてくださ</p>	<p>9.【学生B】話す。 担当の学生が、グループにアンケートを配り、記入してもらう。質問があれば答える。全体に伝えたほうがよいと判断すれば、【学生B】に伝え、【学生</p>	<p>9.どのような意見でも自分の意見を書いて良いと促す。</p>		

劇「E君とI」

ナレーターC「E君とIちゃん、そしてJ君、K君、Lちゃん、Mちゃんの6人は中学2年生、同じクラスでとても仲が良い男女6人グループです。学校がお休みの今日は、みんなどこかに遊びに行くようです。」

【Eの天の声（A）】【Eは舞台上をウロウロ歩く】

今日はクラスの子と遊ぶ。Iもいるから本当に楽しみだ。

俺はIが好きだ。Iといるときは楽しい。部活とか学校の話をする。ひとりでいる時はIのことを考えている。学校ではIと話すのは周りが見ているようで恥ずかしくて、ついぶっきらぼうな返事になったり、無視してしまったりする。でも、Iが他の男と話すのは気になる。付き合い始めてからLINEをよくするようになった。読むのは楽しいが、返事はうまく書けないし、部活で疲れているとはっきり言って面倒くさい時がある。返そうとはしているが、返事の催促が来ることもあり、ちょっと疲れる。「日曜日も毎週会いたいな」とIは言うけど、部活もあるし、男同士の付き合いも楽しいから、毎週は会わなくてもいいのになと思う。でもIのことは大好きだ。

【J・K・Lが舞台の隅に出てきて、話す】【Eが近寄り、挨拶をする】

J君「あとはMとIか。」

【4人は舞台袖にはける】

【MとIが舞台上をウロウロ歩く】【Iの天の声（D）】

E君のことは大好き。告白されて本当に嬉しかった。顔を見ると嬉しいし、いろんなことをたくさん話したい。友達に自慢したい気持ちもあるから、学校でも話しかける。自分の髪型とか服装も気になる。鏡ばかり見ているから、お母さんにからかわれる。たくさんお話したいけど、話す時間がないからLINEで送っちゃう。E君とのLINEは楽しくて、いつもニヤニヤしちゃって、これもお母さんにからかわれる。でも最近ちょっと素っ気ない気がする。LINEは既読無視されるから、なにしてるのかなって気になっちゃって、またLINEするんだけど、その返事も素っ気ない。話しかけると嫌そうな顔をするときもある。「部活が忙しい」って言って、ゆっくり会う時間もない。日曜もたまにしか会ってくれない。好きなら私のために時間つくってくれてもいいのに。会えないならLINEくらいちゃんと返してほしいよね。話したいことがないのかな？でも好きなんだけどね。

今日はクラスの仲良しグループで遊ぶ。E君もいるからちょっと緊張するけど、久しぶりにゆっくり話せると思うし、楽しみで昨日は全然眠れなかった。お気に入りの服着て、髪形もアレンジ頑張ったんだけど、なにか言ってくれるかな～。

M「I、今日なんかいつもと違うね！かわいい！Eがいるからかー。最近どうなの？」

I「ありがとう。なんか忙しいみたいであんまり話せてないんだよねー」

M「そうなの？じゃあ今日チャンスじゃん！帰りとか一緒に帰るの？」

I「約束はしてないけど、一緒に帰りたいなー。」

M「帰りなよ、雰囲気つくるから！」

I「本当？ありがとう！」

【E・J・K・Lが舞台の隅に出てきて話している】【MとIが近寄る】

【友人4人が隅で適当に話している】【IがE君に近寄る】

【Eが後ろを向いてつぶやく】

やべーめっちゃかわいい…かわいすぎる…

I「いつ来たの？」

E「さっき。」

I「そうなんだ！今日ね髪型変えてみたんだけど、どうかな～？」

【Eが後ろ向いてつぶやく】

わかってるよ、めっちゃかわいいよ！

E「まあまあかな。」

I「そっか…」

【4人少し歩きだし、J・K・Mははける。Lが2人を見て】

L「行くよー！」

K「なにイチャイチャしてんだよ(笑)」

E「うるさいなー、してないよ。」

【Eがはける】【LとIが話す】

I「E君、今日機嫌悪いのかな？」

L「そう？さっき普通だったよ。気のせいじゃない？」

ナレーターC「仲良し6人組は水族館に来たようです。」

I「K君、このヒトデ触ってみてよ～」

K「I触れないの？(笑)動かないし。触ってみなよ。」

I「え～」と言いつつゆっくり触ろうとする

【Eが歩いてくる】

E「おい。」と言いながらIの手を引く。

I「ん？どうしたの？」

E「…。」無視して離れる

G「次あっち行こう！」

【6人ともはける】

ナレーターC「E君、どうしたんでしょうね。さて、水族館を楽しみ、帰り道のようです。」

L「明日から学校やだな～」

G「ほんとそれなー」

J「今日の写真アルバムにあげような」

M「うん！あ、K、帰りあっちだよな。一緒に帰ろう。」

K「おう、GとLも一緒に帰るぞ。」

M「EとI、仲良くね。また明日」

【K・G・L・Mははける】【E・Iは後ろを向いて立っている】

I「イルカかわいかったね～」

E「そうだな」

I「バス遅いね～」

E「…。」

【E天の声（A）】

I かわいいな…無性に手握りたくなってきた。抱きしめたい。ふたりきりだしチャンスじゃないか？でも恥ずかしい。恥ずかしすぎる。無理だ。でもこの前ちょっと強引なのがいいってテレビで言ってたな。Iもそうしたいんじゃないのか？いけるぞ。がんばれE！

【EがIの手を握り抱き寄せる】

【IはEを両手で押し、離れる。】

劇終わり。

グループワーク MEMO

グループ名 () G

▼発表すること

- ① 最後のシーンでの突き飛ばした I ちゃんの気持ちと突き飛ばされた E くん
の気持ちは？

- ② E くと I ちゃんが今後も良い関係であるためにはどうしたらよいか

▼意見交流の理想回答

①最後のシーンでの二人の気持ち

【突き飛ばしたIちゃんの気持ち】

◎嫌だった

→いきなりだったから

→人目が気になるから

→LINEはそっけないのに…

○怖かった

○びっくりした

【突き飛ばされたEくんの気持ち】

◎傷ついた

○びっくりした

→好きなのになんで…?

→突き飛ばさなくてもいいのに…

→受け入れてくれると思ったのに…

②今後2人が良い関係でいるためには?

◎話し合いが必要

◎お互いの気持ちを考える、確かめる

◎お互いに思っていることを伝える

○手を繋ぐことから始める

(段階を踏んで)

○雰囲気を作ることも大切

▼予想される回答例と対応

【抱きしめることに関して】

雰囲気的に普通では?

普通なら嫌がらない?

→普通は人それぞれ違うし、男女でも違う。

でも“好き”って気持ちより先に手を出してしまうのはどう思う?

嫌がっているふりじゃない?

本当はIちゃんも望んでいたかも?

→ふりかどうかはIちゃんに聞かなきゃ分からないよね? ガンガン接触して平気かな?

2人きりならもっといっちゃうでしょ!

(抱きしめる、キス、性的接触…)

→性的なこと気になっちゃうよね~

でも2人のことだし、相手のことを考えなかったら、女の子は傷ついてしまわないかな?

⇒女の子(発言少なめのませてる子とか)に質問

ガンガンこられたら嫌でも言い難かったりしないかな? [Yes Noで答えやすく]

一度認める!

【中学生男子の発達段階】

めっちゃAV見てる、正しくない知識だらけ?

→行き過ぎたものを多く見ているかも。

“嫌よ、嫌よも好きのうち”で

強引な方が良く考えているかも。

※些細な言葉でも性的な方向に持っていかも…

→戸惑わない。動じない。